香美地区から こんにちは 今月の気になる人

香我美支所管内より

クラシックカーを こよなく愛する中屋さん♪

中屋 和彦さん（53）

「気兼ねなんかせんとなんでも聞いてよ」と開口1番言って下さり、「えいように写真も撮って帰ってよ」と私の緊張をほぐしてくれとても気さくな中屋さん（*‘∀‘）中屋さんは車・バイクが大好き。少年の頃から車好きだったそうですが、20歳の時に勤めた車関係の会社で出会った先輩に大きく影響を受けたと話してくれました。

そんな中屋さん、車の中でもクラシックカーが大好きだそう。ガレージに置かれている3台の車の特徴など分かりやすく話してくれ、ブルーバードSSSはおじ様にはたまらない1台とか（笑）

真ん中に写っているモーリスクーパーSは、広島県にあると紹介を受けその日のうちに車を走らせ、実物を見てその場で購入を即決！！

真っ赤なフェアレディ311は、お孫さんがもう少し大きくなったら乗れるようにして、一緒に乗るのが夢だそう☆彡

取材中終始ニコニコ顔。車好きな気持ちが溢れていました。

地区担当者より

人懐っこくて寝ることが大好きな 小梅ちゃん☆彡

小梅ちゃん（1）

小梅ちゃんの品種はミニチュア・ピンシャー。

会った時に目がいったのが、大きなピンとした耳とまん丸おめめ。

小梅ちゃんを飼うきっかけは、飼い主さんの友達の家で産まれ、これからも会える人に育ててほしいと話がきたのがきっかけ。飼い主さんは少し迷いがあったそうですが、子どもたちに話したら飼いたい！飼いたい！と大はしゃぎ♪ その姿をみて、飼うことを決意！！

お店を営んでいる飼い主さん。小梅ちゃんをいつもお店に連れて行って一緒に過ごしているそう。お店の看板娘になりつつあります（*‘∀‘）取材中にきたお客さんが「あれ？ 今日は愛想してくれんのー。つれないにゃー（笑）」と小梅ちゃんに声をかけていました。

初めましてのわたしにもいきなりスリスリ寄って来てくれるぐらい本当に人懐っこい小梅ちゃんですが、なぜかお店に出入りする業者さんには吠えまくるそう。普段が温厚な小梅ちゃんだけに飼い主さんもどうして？ と不思議がっていました。

土佐山田支所管内より

風景も楽しめる図書館 門脇さんお気に入りの場所で 撮影（*^^）

門脇 真里さん（48）

11月3日に開館した「香美市立図書館かみーる」の館長を務める門脇さん。以前の図書館の老朽化により、新設計画から9年。門脇さんは5年前からプロジェクト会に入り、地域の方とも何度となく話合いを持ち今回の開館に。

「日常生活の中でお買い物に出かけるように、ここもみなさんの生活の中の1つとして、図書館に行くのが当たり前になってもらいたい。過ごしやすい雰囲気、図書館にまた行きたいと思ってもらえるように、貸出の本やおすすめコーナー、イス・机、窓から見える景色、図書館全部にこだわりました。かみーるで人生を変えるような特別な1冊に出会ってもらえたら嬉しいです」と柔らかい雰囲気で話してくれた門脇さん。本と図書館という空間が本当に大好きなんだなと伝わってきました(*^-^*)

ぜひ、みなさん新設された「かみーる」にお出かけしてみて下さい☆

野市支所管内より

声出して繋ぐ！ 目指せ全国大会出場！！

野市東クラブ

バレーボール部「野市東クラブ」の発足は1981年。現在の部員は13人（取材当時）で、週3回の練習を5年生中心に行っています。

今回はその5年生をメインにインタビューさせてもらいました。

学校終わって宿題等もあるなか練習しんどくない？ の問いには「きつい時もあるけど、みんながおるき練習に出てきたい！」「上手になって試合に出たい！」等すぐ返事が返ってきました。

次に試合について聞いてみると、「声を出すこと・ボールを繋げることが大事。そうするとリズムが出来て、1点に繋がる」と、みんな揃っての返しが！！

目標は何ですか？ と聞いてみると「サーブをしっかりときめる！ 試合に勝って全国大会にもいきたい！！」とこれまたみんなが同じ想い！(^^)！

みんな元気いっぱいで、ハキハキと話してくれ、団結力が感じ取れるチームでした★

香美地区版

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

担当者の説明を熱心に聞く盟友たち。

1 地区本部

最新農業技術を学ぶ －青壮年部 関東農業WEEK2022視察－

ＪＡ高知県青壮年部土佐香美本部は10月13、14日の二日間、千葉県の幕張メッセで行われた関東農業ＷＥＥＫ２０２２にて視察研修を行いました。

関東農業ＷＥＥＫ２０２２は、日本をはじめ海外の農業関連企業や団体等が一堂に会し、最先端の農業製品や技術について活発な商談が行われる展示会。12日から14日の３日間開催され、全国各地から農業関係者ら約３万人が訪れました。

同視察は農業の技術革新が著しく発展を遂げていることから、同イベントに自ら行って学ぼうと視察を企画。６人が参加し、最新の農業技術や製品に触れました。

訪れた盟友は、広大な会場に所狭しと並んだ農業関連企業団体のブースに興味津々。企業担当者の説明に耳を傾けるとともに「費用対効果はどうですか」「このような環境下ではどうですか」など、熱心に質問していました。

参加した盟友は「大変勉強になった。個人で参加するには負担も大きいし、このようなイベントが開催されていたことすら知らなかったので、青壮年部員でなければ来ることができなかった」「農業用ドローンや自走の草刈り機など、様々な農業技術を実際に見て触れて、知ることができたので、農業に活かしていきたいと思う。来年もまた来たい」と、話しました。

2 土佐山田支所管内

色とりどりの花で寄せ植え

寄せ植えした鉢と一緒に写る部員たち。

女性部土佐山田支部は、10月24日、土佐山田支所３階で「花の寄せ植え」を行いました。

自分たちで町の花屋さんに花と土を注文し、それぞれ持ち寄った鉢に寄せ植えをしました。

参加者は思い思いに花の株を手に取り配色等を考えながらも、何度か取り組んできた活動ということもあり、手際よくあっという間に仕上げました。

そして、宮地テル子支部長は「コロナ禍でなかなか活動が出来ませんでしたが、今回は以前に計画し延期になっていた寄せ植えに取り組め、みなさんとお顔を合わせながらの会話もでき良かったです。今後もコロナ対策を十分取りながら、支部活動に取り組んでいきたいので、みなさんその際にはぜひ参加して下さい」と閉会の挨拶。

部員らは、完成した鉢を大事に抱えながら、「あんたのえいね」「今日は楽しかったね」と帰り際まで交流を楽しみました。

3 吉川支所管内

お弁当作りで食農教育

協力して調理をする生徒たち。

女性部吉川支部は、10月18日、赤岡中学校で１年生を対象に、地場産物を使ったお弁当づくりを行いました。

この活動は、お弁当づくりを通し中学生に必要な１食分の分量や栄養バランスを学ぶとともに地場産物に関心を深め、調理にも興味を持ってもらうことが目的です。

生徒たちは、切り方や焼き方、調味料の計り方など、女性部員の指導を受けながら班で協力し、３品を調理。そして女性部員が用意した２品のおかずと一緒に、各々がお弁当箱に彩りよく詰めました。

4 土佐山田支所管内

やっこねぎを学ぶ

児童たちに分かりやすく説明する村田さん。

楠目小学校では、総合授業「香美のくらし」のテキストを用い、地域の産業を学んでいます。

その中で今回、やっこねぎ部会に授業の依頼があり、10月18日に３年生32名がやっこねぎ部会副部会長　村田篤則さんのハウスに見学に来ました。

授業では、目の前でやっこねぎを引いて見せながら、歴史や栽培方法、スーパーに並ぶまでの流れを分かりやすく説明。

児童からは「どんなねぎがいいねぎですか？」「どうやってお水をあげているんですか？」等と、たくさんの質問をし、熱心にメモを取るなど地域農業について知識を深めました。

5 野市支所管内

香美地区園芸部通常総会

“１人で考えるのでなく、皆で力を合わせていきましょう”

質問に返答する竹島部長。

野市支所２階で11月２日に香美地区園芸部が令和４園芸年度通常総会を開催しました。総会には、役員をはじめ生産者・関係機関を含め42名が出席。

冒頭、竹島章部長は、「コロナ禍で思うように動きがとれない中、販売高75億円の目標を目指し生産者の皆さんが奮闘して下さった姿に敬意を表します。また、直面している肥料や資材の高騰など、１人で考えるのではなく、皆で力を合わせていきましょう」と挨拶しました。

会では令和４園芸年度事業報告並びに収支決算の報告、令和５園芸年度事業計画などが審議され、出席者からは活発な質問や意見が出され、改めて部会が一つになり取り組むことの大切さを確認しあいました。

6 香我美支所管内

１年ぶりの開催 多くの人で賑わう

たくさんの来場客で賑わう様子。

女性部香我美支部と果樹部果樹女性部は、11月３日に開催された「第６回山北みかんこもれびマルシェ」に出店しました。

女性部香我美支部は、みかん餅約２５０パック・ちらし寿司・赤飯を販売。正午には売り切れてしまうほど大盛況。果樹女性部はイベント恒例にもなっている人気のみかん詰め放題に、８００kgのみかんを用意。また、３kgの箱みかんも一緒に販売しました。

当日は天気にも恵まれ暑いぐらいの中でのイベントとなり、お客さんが途切れることなく賑わい、山北みかんのＰＲに繋がりました。

役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

チャレンジ！ 家庭菜園

カブのトンネル栽培 適切な温度管理を心掛ける

カブは、暑さと乾燥に弱いが、寒さには強いという特徴があります。温暖地の露地栽培は3、4月まきになりますが、トンネル栽培では2月まきができます。生育促進と、とう立ち防止にマルチ、べた掛け、トンネル資材での保温が必要です。

【品種】低温肥大の良い「白鷹」（武蔵野種苗園）、「ゆきわらし」（カネコ種苗）、周年安定した生育をする「耐病ひかり」（タキイ種苗）などがあります。

【畑の準備】種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを全面にまき、深く耕しておきます。1週間前に化成肥料（NPK各成分10％）100gと堆肥1～2kgをまいてよく混和しておきます（図1）

【畝立て】幅70～80cm、高さ5～10cmのベッド（栽培床）を作り、平らにならします。畑が乾燥しているときは、かん水して土壌水分が適度な状態にし、15cm間隔の穴開きシートでマルチをします（図2）。

【種まき】種は1穴当たり4、5粒まき、1cmほど土を掛けます（図3）。その後は、発芽促進と幼苗の保温のために、べた掛けとトンネルをします（図4）。

【間引き】発芽し、双葉がそろった時点で、密になっている部分を間引きます。その後も、生育の劣る株を間引き、最終的に1株立ちにします。

【トンネルの被覆と換気】冷涼地や温暖地の2、3月はまだ夜温は低いが、昼間のトンネル内は高くなるため、本葉1、2枚の頃から換気を開始します。フィルムの裾を開閉する方法、フィルムに穴を開ける方法や穴開きフィルムを使う方法があります。そして、生育後半にトンネル内の茎葉が繁茂する頃、遅くてもヤエザクラ開花の頃にトンネルを除きます。

【収穫】直径5、6cmから収穫（小カブ）を始め、10～12cm（中カブ）まで収穫期間があります（図5）。

図1 畑の準備

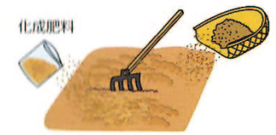


図2 マルチ張り

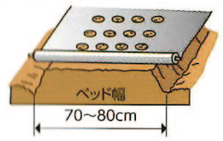


図3 種まき

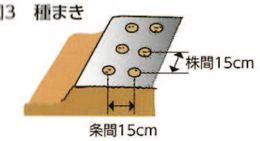


図4 トンネルべた掛け

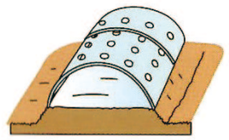
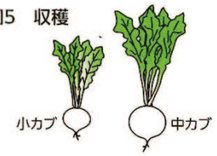


図5 収穫



トマト

～灰色かび病～

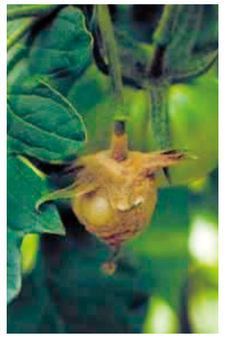
〈被害の様子・発生条件〉

▽灰色かび病は、促成栽培、半促成栽培、抑制栽培など施設栽培で多発します。20℃くらいで多湿のときに発生しやすいので、一般に11月～4月にかけてみられるが、曇雨天が続くと5～6月にも発生することがあります。また、トンネル栽培や露地栽培では、育苗期や梅雨期に発生することがあります。

▽灰色かび病はハウス病害の中では葉かび病やすすかび病、菌核病と並んでおそろしい病気です。とくに果実に発生が多いので、多発すると著しく減収します。

葉の病斑

花と果実での発生


幼果での発生

〈対策のポイント〉

▽低温にならないように、保温に努めましょう。

▽多湿にならないように、日中高温のときは積極的に換気を行いハウス内の水分除去に努めましょう。

▽発病前から薬剤による予防散布を行います。

▽ビニールなどによるうね面や通路のマルチを行い、施設内の湿度の低下と土壌中の罹病残渣からの伝染を防ぐようにしましょう。

▽果実に付着した花は早期にとり除く。ブロアーやコンプレッサーによる花殻の吹き飛ばしも省力的です。

▽発病した果実や茎葉は分生胞子形成前に見つけ次第、摘除し、施設外へ搬出して土中深く埋め、被害部位に分生胞子形成が認められたら胞子が飛散しないようにていねいにビニール袋などに密封して処分しましょう。

▽ポリビニルアルコールフィルムは吸放湿性や透湿性があるので、これを内張りに用いると夜間や早朝の多湿環境が改善され発病は抑制されます。

温室柚子

加温開始後　初期の病害虫対策

黄斑病

【被害】

黄色い斑点様の病斑が葉に発生、発病した葉は落葉するため樹勢が低下します。

【対策】

新芽の発生と同時に防除を行いましょう。風通しの悪い園、または樹勢の弱い樹に発生しやすいので樹体を健全に保つことも重要です。薬剤としては、（ジマンダイセン水和剤・収穫90日前※日数注意600～800倍・4回）が有効です。

黄斑病により落葉した枝

ミカンハモグリガ

【被害】

新芽表面に産み付けられた卵がふ化し、その幼虫が葉内に食い入ります。葉肉内を不規則に進み、食害痕が白い曲線のように見えることから「エカキムシ」とも呼ばれます。多発すると葉が巻いて奇形となり、新梢の生育が著しく悪くなります。

【対策】

成虫が産卵するのは非常に若い展葉を始めて10日以内の葉齢のものが多いため発芽初期の防除が大切です。防除開始時期が遅れないように注意しましょう。園内の成虫密度を低下させるため、新芽だけではなく、樹全体に散布することも重要です。新芽の時期が不ぞろいにより長引くと被害を受ける可能性が高まります。薬剤としては、（エクシレルSE　収穫前日・5000倍・3回）等が有効です。

ミカンハモグリガの幼虫により食害された葉

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

ＪＡ女性部香北支部〝マルシェ〟に行って来ました。あったかく力を合わせて行われていて良かったです。沢山の方々の作品、古着も4着買って割安く早速着て行くととても良いと評判。着物はツーピースにして散歩したいと思っています。ちっちゃいので袖丈も背丈も布が余るので何を作ろうかとワクワクしています。

（香美市香北町・82歳）

▼10月号のできごとピックアップのページで女性部香北支部の記事の掲載を見てのお便りありがとうございます。掲載スペースの関係で当日出品されていた手芸品等の写真を載せることはできませんでしたが、かわいい置物から始まり、折り紙の展示、洋服、どれも素敵でクオリティが高かったです！ 今回お便りを下さった方も、購入した着物をリメイクして着られるとのこと。それで余った布切れで、まだ何かを作ろうと考え中。すごいですね!! どんなリメイクになるのか、後もどんな物ができるのか興味があります☆

はつなすに　うつりしかおの　おもしろさ

（香南市赤岡町・53歳）

▼俳句のご紹介。わたしが「こうぐり」に携わってから初めて俳句が届きました。五・七・五のわずかな音で季節・風景や心情などが伝わる。日本語って綺麗で素敵だなと改めて感じました。今、10代の子たちの中でも五・七・五で心情を伝えるのが流行っているとつい先日情報番組で取り上げられていました。私も作ってみようかな♪

ドングリというと、子どもが拾って庭にまいたドングリのうち一本が30年経てドングリをつけるようになりました。もっと前からあったかもしれませんが、イマになって気づきました。

（香美市土佐山田町・66歳）

▼10月号のクロスワードの回答が「ドングリ」だったので、ドングリエピソードと〝ドングリ〟の絵を書いて送ってきて下さいました。子どもさんとの思い出。そのドングリが芽を出し木になり、実がなる。ほっこりするお話。ドングリ、芽が出る・・・あの人気映画を連想しますね※他にもドングリの絵を書いて送ってきて下さった方が。皆さんからのお便りは毎月本当に楽しみです。秋を感じる素敵な絵手紙も届いたのでご紹介させて頂きます。

（香南市野市町西野・70歳）

一度やってみたいと思っているボッチャ！お年寄りがはまるらしいので、私もぜひ行ってみたいです。

（香美市物部町・62歳）

▼ぜひ！ 年齢関係なくみんなで和気あいあいと楽しめるスポーツです。

＊地区担当者のつぶやき＊

今月号のピックアップに載せました山北みかんこもれびマルシェの取材時に、写真撮影&インタビューを快く受けて下さった方々をご紹介します（^O^）／

❶四国中央市から遊びに来て下さったご家族。また来年も来ます！と言ってくれました（^^♪

❷今からおばあちゃんのとこへ持っていくと話してくれた女の子♡

❸果樹女性部出店のみかん詰め放題で、ひときわ賑やかで楽しそうに詰めていた高校生2人☆彡

取材協力ありがとうございました！（^^）！（田村）

女性部香我美支部 もち販売

日時 12月30日（金）AM9：00～11：00
※無くなり次第終了とさせていただきます。

場所 Aコープかがみ

販売内容 みかん餅（5個入り） しろ餅（5個入り） あん餅（5個入り） のし餅 ほか

【連絡先】 高知県農業協同組合 香美地区本部　〒781-5295 香南市野市町西野2704-2　TEL.0887-56-0121

香美営農経済センター　56-2372

野市支所	56-0921	物部支所	58-3105	特産センター	56-0061	車輌センター	56-0314
香北支所	59-2321	土佐山田支所	53-2155	農機センター	53-4221	LPガスセンター	53-4353
吉川支所	55-2117	赤岡支所	55-2151	JA共済高知中央サービスセンター	088-821-6015		
夜須支所	55-2155	香我美支所	55-3135	JA葬祭会館「ルミエールとさかみ」56-5911（24時間対応）			